

業況調査

山形商工会議所は、各業種の現況を把握するため、協同組合を対象に「業種別推進委員制度」を設けている。9月から11月期にかけての主な報告は次の通り。

《立谷川工業団地（協）》精密部品加工品は売上増となっているが、粗利益が取れない状況。アパレル事業は国内消費の減少が響き、海外販売は円高が懸念材料に。

《山形鋳物工業団地（協）》機械鋳物（自動車・機械部品）は1割減だが、年明け以降受注増を見込む。建築機器関係は減少傾向に。工芸鋳物のうち鉄瓶は、中国からの受注が無くなる。一方で海外への販路拡大へ取り組んでいる企業は善戦。国内向けにはふるさと納税の返礼品としての鉄瓶が好評

《山形建設工業団地（協）》ここに来て順調に推移し始めている。業種によっては人員の配置に苦慮している現場も。

《山形打刃物工業（協）》後継者不足等による生産態勢の維持が難しい状況の中、伝統技術に裏打ちされた手作りの良さを強調している。

《山形トラック運送事業（協）》

依然としてドライバー不足に悩まされているが、軽油の値が安定し事業収益は順調。教育情報事業の一環として北欧3国の物流事業を組合員等15名で視察した。

《山形青果商業（協）》猛暑と台風の影響でレタス、白菜など白物野菜の高値が続いた。果物は例年より早く出回る。

《山形県理容生活衛生同業組合》リラクゼーション部会を中心に積極的に講習会を開催し、サービス向上に努めている。技能五輪で金メダルを獲得した。

《山形県美容業生活衛生同業組合》横の連携を図るとともに、青年部を主体とした活動に力を入れている。技能五輪で銀メダルを獲得した。

《山形市管工事（協）》一般住宅の水道工事は今年4～10月間1363件で、昨年同期間を72件上回った。下水道工事は微減。共同資材販売は昨年比3割増。今後は一般住宅と共に公共工事発注に期待が掛かる。

《山形市中心商店街街づくり協議会》10月は街なか賑わいイベントが多く、観光客が訪れるきっかけづくりとなった。一方で、商店街全体の売上は下降線をたどり、結果として空き店舗が増えている。街づくりとの関連で取り組む必要がある。